

2022年10月24日作成

Ver.1.2

cT3-4a-cNOMO 乳癌に対する腋窩リンパ節の手術方法が予後に与える影響を検証する多機関共同後方視的観察研究

1、研究の目的と意義

手術前の画像検査によってリンパ節転移がない乳癌（cNO）において、センチネルリンパ節生検を行い、転移がなければ腋窩郭清を省略し、転移があれば腋窩郭清を行うことは標準的な手術方法です。腋窩郭清を省略することで、手術を行った側の上肢のむくみ（リンパ浮腫）を起こす割合が減り、患者さんの生活の質（QOL）の向上につながることが明らかになっています。この根拠となるランダム化比較試験では、対象患者はいずれも腫瘍径が小さな症例（cT1, T2）に限定されています。このためアメリカのガイドライン（ASCO Clinical Practice Guideline 2016）では、大きな腫瘍（cT3, 4a-c）の場合は、データが不足しているためセンチネルリンパ節生検を施行すべきではない事が弱く推奨されています。一方、日本乳癌学会乳癌診療ガイドライン 2018 では、腫瘍径に関わらず、cNO においてはセンチネルリンパ節生検が推奨されており、実際にセンチネルリンパ節生検が行われています。

本研究の目的は、cT3-4 a-c NO 乳癌におけるセンチネルリンパ節生検の実施状況を検討し、センチネルリンパ節生検を選択されうる群、最初から Ax を選択されうる群それぞれにおいて、cT3-4 a-c 乳癌の予後に有意差があるのか明らかにする事です。cT3-T4 a-c において最初から腋窩郭清を行う群と比べセンチネルリンパ節生検群が予後において有意に不良であれば、センチネルリンパ節生検を選択すべきではないことが明らかとなります。予後に有意差を認めない場合、センチネルリンパ節生検群を実施する際に、腋窩郭清群と比べ受けいれなければならないリスクの程度が明らかになり、cT1-T2 と同様にセンチネルリンパ節生検術によって腋窩郭清術を施行/省略を判断する手術を一般臨床として行う事の一助になると考えています。

2、対象となる患者さん

1. 2006年1月1日から2016年12月31日までにcT3-4a-cNOMO 乳癌に対し、根治手術を行った患者さん

ただし、下記の条件に当てはまる患者さんは対象とはなりません。

1. 腋窩手術（センチネルリンパ節生検術もしくは腋窩郭清術）を行わなかった患者さん
2. センチネルリンパ節転移陽性に対して、腋窩郭清を省略した患者さん
3. センチネルリンパ節を同定できず、腋窩リンパ節のサンプリングを行った患者さん
4. cT3-4a-cNO 乳癌と診断される前に乳癌の既往がある患者さん（異時性乳癌）、ただし非浸潤性乳管癌を除きます
5. cT3-4a-cNO 乳癌と診断されると同時に、対側乳癌と診断された患者さん（同時性対側乳癌）、ただし非浸潤性乳管癌を除きます

3、研究の方法

この研究は、他機関共同研究として実施します。

- ・『4 研究に用いる情報』に示す情報を患者さんの診療録より収集します
- ・遺伝情報の取り扱いはありません
- ・cT3-4 a-c NOMO 乳癌の患者さんにおいて、センチネルリンパ節生検群（センチネルリンパ節を行い、転移陰性であれば腋窩郭清を省略し、転移陽性であれば腋窩郭清を行う）、センチネルリンパ節生検を行わず最初から腋窩郭清術を行う群にわけて術後経過を比較します。どちらの手術方法を選んだかは、患者さんの背景因子が異なっていることが予想され、それらをそろえるため臨床病理学的因子をプロペンシティスコアという統計手法を用いて調整します。

4、研究に用いる情報

- ・患者背景：性別、年齢、閉経状況、臨床病期、手術日、手術方法
- ・画像検査：検査のモダリティ、治療開始前の腫瘍径、腫瘍の大きさ・皮膚や大胸筋への浸潤の有無によるステージ
- ・治療内容：術前化学療法（治療開始日）・術後化学療法の有無・レジメン、内分泌療法の有無・レジメン、放射線治療の有無・照射範囲（乳房・胸壁・領域リンパ節）
- ・病理検査：腫瘍径、組織型、転移の有無、リンパ節転移回数、ER、PgR、HER2、組織学的グレード、脈管侵襲の有無
- ・術後経過

本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

5、研究期間

研究機関長の許可日～2023年6月30日

6、外部への情報の提供

長崎大学病院へ『4 研究に用いる情報』に示す情報を、個人が特定できない状態にしてメールで提供します。提供した情報は長崎大学病院においてデータ解析が行われます。

7、研究実施体制

本研究は多機関共同研究です。

長崎大学病院を中心に全国の約30機関で実施します。

詳しい研究機関についてお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

<研究代表機関>

長崎大学病院 乳腺・内分泌外科

氏名：久芳 さやか（研究代表者）

住所：長崎市坂本町 1-7-1

電話：095-819-7316

FAX：095-819-7319

8.お問い合わせ先

大阪国際がんセンター 乳腺・内分泌外科

氏名：中山 貴寛(研究責任者)

住所：大阪市中央区大手前 3-1-69

電話：06-6945-1181

別紙 1. 共同研究機関・研究責任者一覧

研究課題名	cT3-4a-cN0M0 乳癌に対する腋窩リンパ節の手術方法が 予後に与える影響を検証する多機関共同後方視的観察研究
研究代表者	機関名：長崎大学病院
	所属：乳腺・内分泌外科
	氏名：久芳 さやか

	共同研究機関名	所属	研究責任者
1	長崎医療センター	乳腺内分泌外科	前田 茂人
2	相良病院	乳腺・甲状腺外科	相良 安昭
3	札幌医科大学病院	乳腺・内分泌外科	九富 五郎
4	三重大学医学部附属病院	乳腺センター	石飛 真人
5	東北大学病院	乳腺外科	石田 孝宣
6	及川病院	乳腺外科	及川 将弘
7	慶応義塾大学医学部	一般・消化器外科	林田 哲
8	長崎みなとメディカルセンター	乳腺内分泌外科	南 恵樹
9	杏林大学医学部付属病院	乳腺外科	麻賀 創太
10	北九州市立医療センター	外科	阿南 敬生
11	愛知県がんセンター	乳腺科	服部 正也
12	がん研有明病院	乳腺センター	坂井 威彦
13	JCHO 久留米病院	乳腺外科	山口 美樹
14	北里大学病院	乳腺・甲状腺外科	三階 貴史
15	聖マリアンナ医科大学病院	乳腺・内分泌外科	小島 康幸
16	熊本大学病院	乳腺・内分泌外科	富口 麻衣
17	聖路加国際病院	乳腺外科	林 直輝
18	関西医科大学付属病院	乳腺外科	多田 真奈美
19	大阪国際がんセンター	乳腺・内分泌外科	中山 貴寛
20	岡山大学病院	乳腺・内分泌外科	枝園 忠彦
21	秋田大学病院	乳腺・内分泌外科	寺田 かおり
22	九州がんセンター	乳腺科	徳永 えり子
23	九州大学病院	乳腺外科	久保 真
24	浦添総合病院	乳腺外科	蔵下 要
25	九州医療センター	乳腺外科	岩熊 伸高

26	昭和大学	乳腺外科	林 直輝
27	那覇西クリニック	外科	玉城 研太郎
28	筑波大学	医学医療系 乳腺内分泌外科学	坂東 裕子
29	自治医科大学附属病院	乳腺科	原尾 美智子

作成日：2022/10/31

版数：3